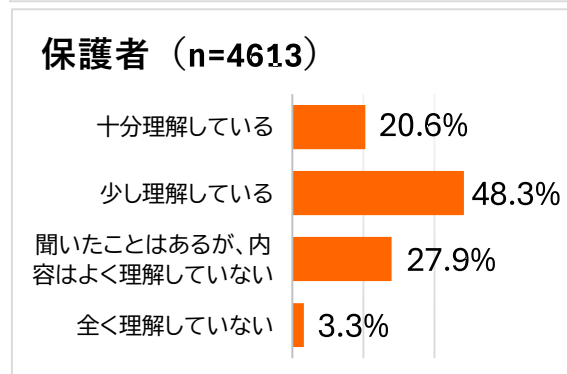
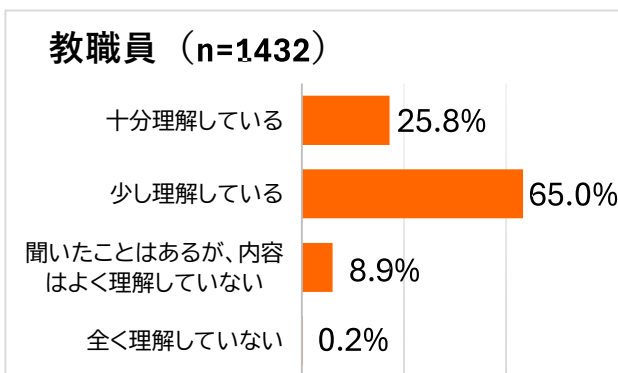
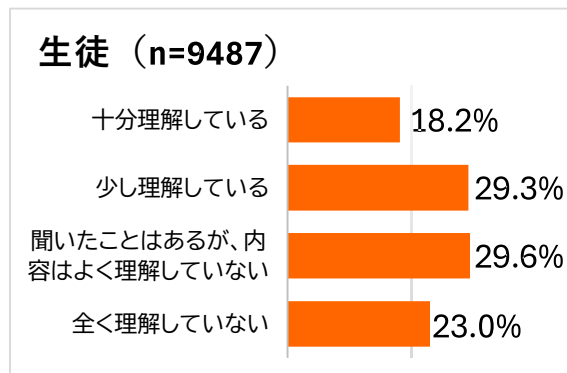


令和7(2025)年度 休日の地域クラブ活動に関するアンケート結果について【概要版】

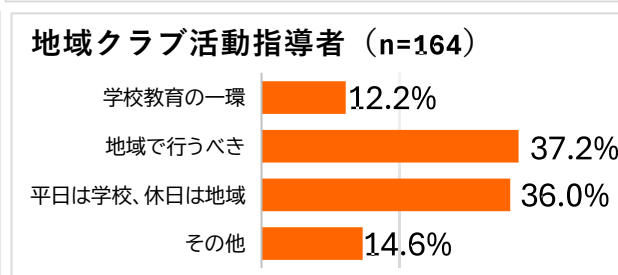
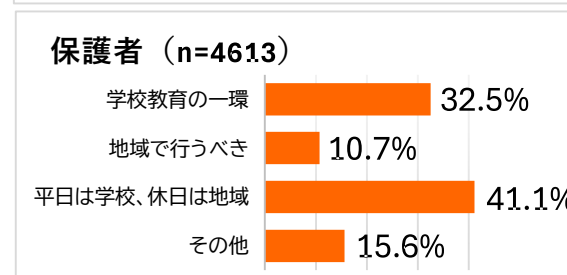
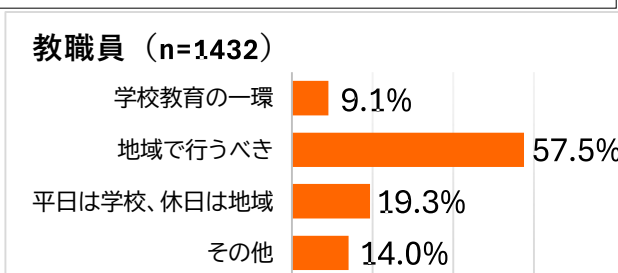
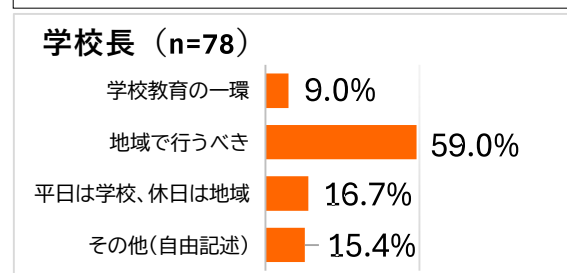
1 部活動の地域移行について、どの程度理解しているか。

生徒の約48%、教職員の約91%、保護者の約69%が「十分理解している」、「少し理解している」と回答している。一方で、生徒の約53%、教職員の約9%、保護者の約31%が「内容はよく理解していない」、「全く理解していない」と回答している。



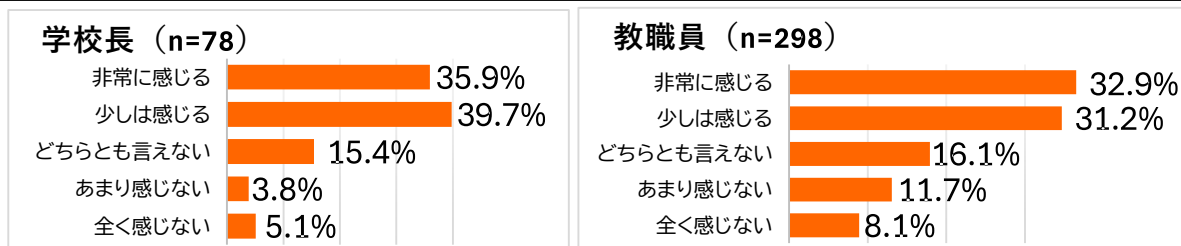
2 部活動は将来どうあるべきか。

校長の59%は「地域で行うべき」と回答しており、教職員の約58%も同様の回答をしている。一方で、保護者の約33%、地域クラブ活動指導者の約12%は、「将来も部活動は学校教育の一環として継続すべき」と回答している。



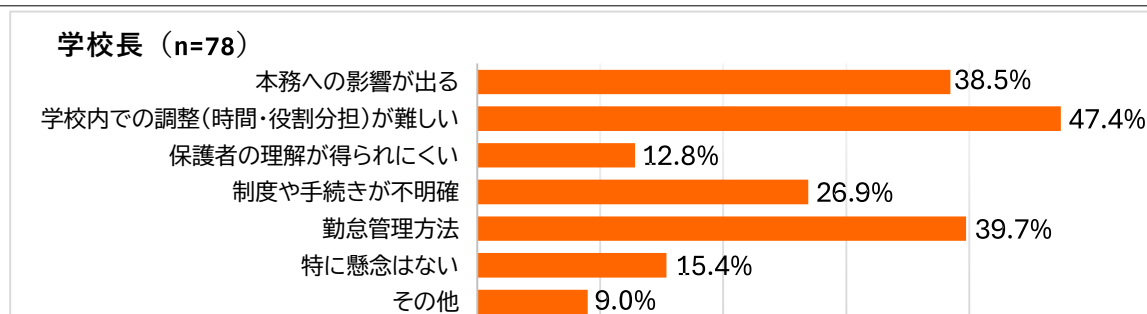
3 休日の地域クラブ活動は教職員の負担軽減につながったと感じるか。

校長の約76%及び教職員の約64%が地域クラブ活動は「教職員の負担軽減につながった」と回答している。



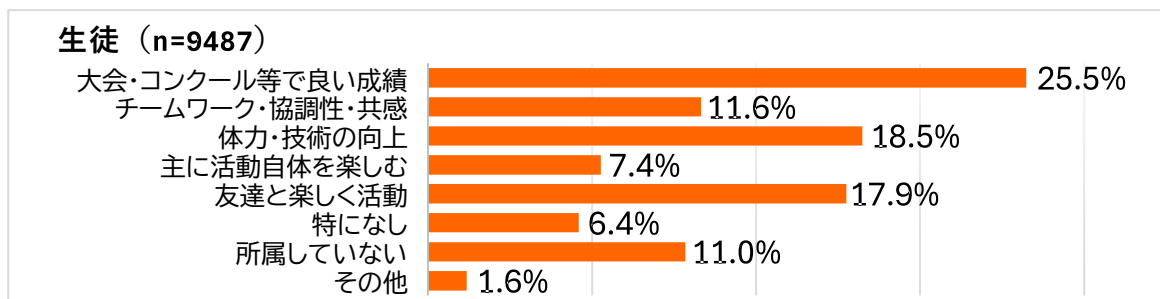
4 教職員の兼職兼業について、心配されることは何か。(複数回答)

校長の約47%が「学校内での調整(時間・役割分担)が難しい」、約40%が「勤怠管理方法」が心配されると回答している。

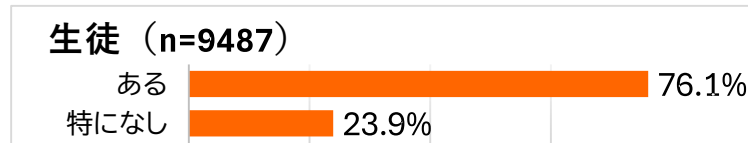


5 部活動に所属している目的はどれに当てはまるか。(複数回答)

「大会やコンクール等で良い成績を収めること」や「体力・技術の向上」、「友達と楽しく活動すること」、「チームワークや協調性を味わうこと」など様々であった。

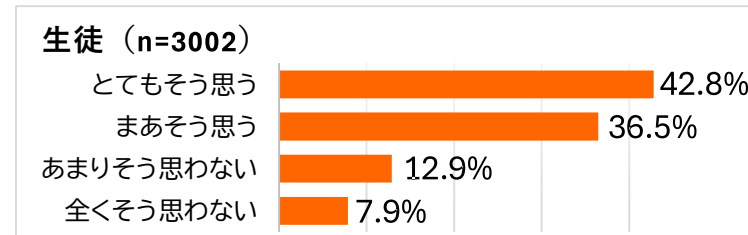


6 学校にある部活動以外でやってみたい種目や活動があるか。



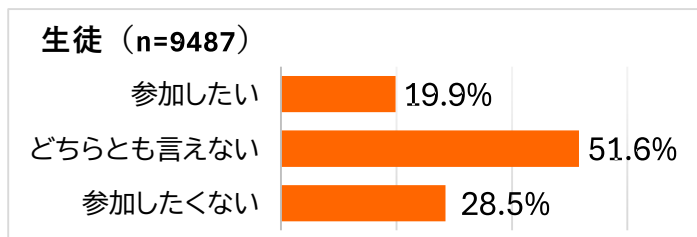
約76%の生徒が学校にある部活動以外でやってみたい活動があると回答している。

7 次年度も休日の地域クラブ活動に参加したいと思うか。



地域クラブ活動に参加した生徒の約79%の生徒が次年度も休日の地域クラブ活動に参加したいと回答している。

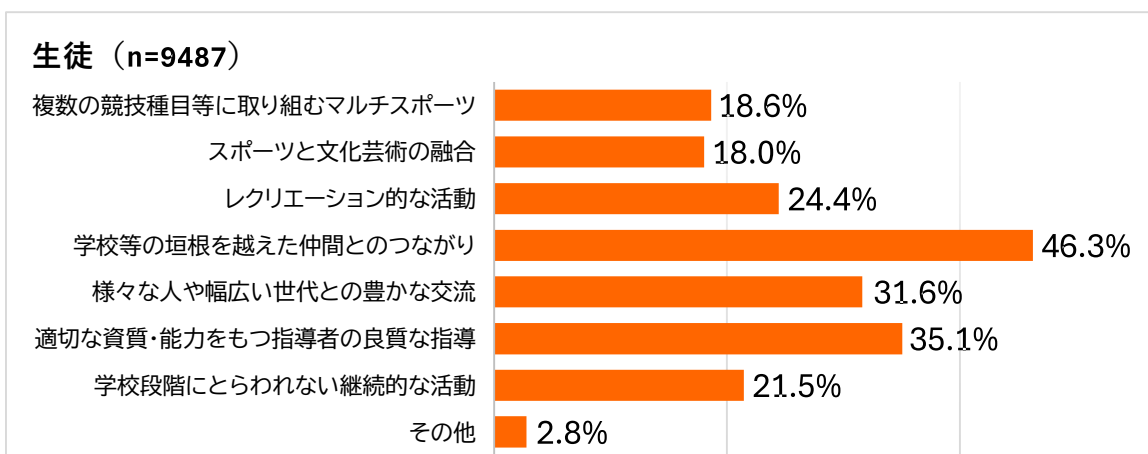
8 月謝を支払う場合、休日の地域クラブ活動に参加したいか。



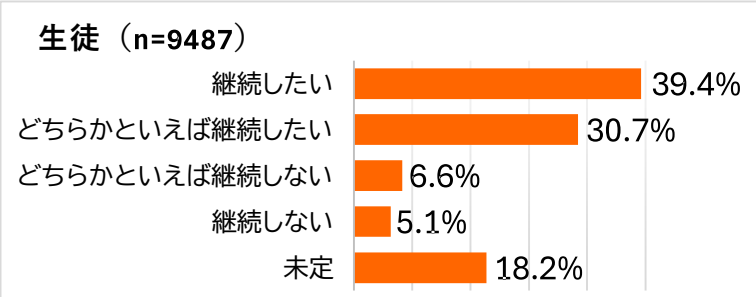
月謝を支払う場合、生徒の約52%は「どちらとも言えない」と回答し、約29%は「参加したくない」と回答している。

9 あなたが考える「より良い活動」とは、どのようなものか。(複数回答)

「学校等の垣根を越えた仲間とのつながり」や「適切な資質・能力をもつ指導者による良質な指導」、「様々な人や幅広い世代との豊かな交流」など様々であった。

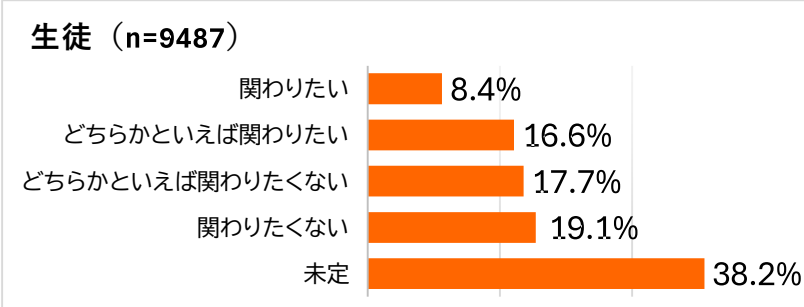


10 中学校卒業後も、スポーツや文化芸術活動に継続して取り組んでいきたいと思うか。



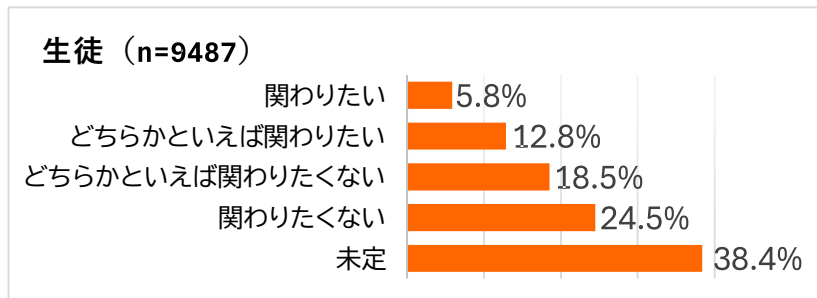
約70%の生徒が継続したいと回答しており、約18%の生徒は未定である。

11 中学校卒業後(将来的)に、地域クラブ活動の指導に関わりたいと思うか。



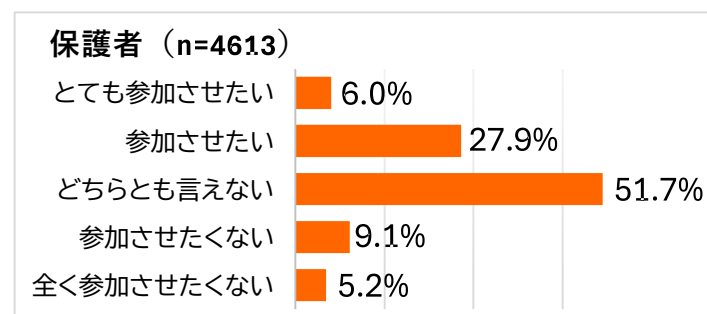
将来的に地域クラブ活動に関わりたいと回答する生徒は25%で、約38%は未定である。

12 中学校卒業後(将来的)に、地域クラブ活動の運営に関わりたいと思うか。



将来的に地域クラブ活動の運営に関わりたいたいと回答する生徒は約19%で、約38%は未定である。

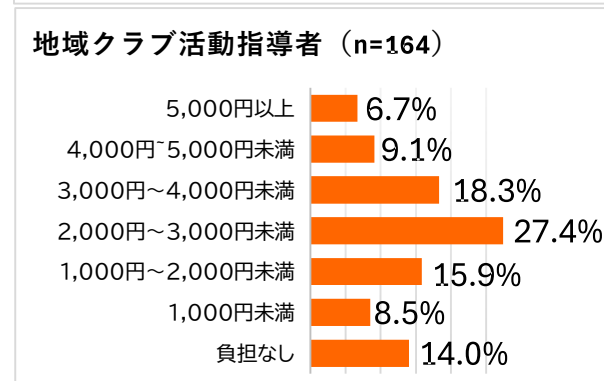
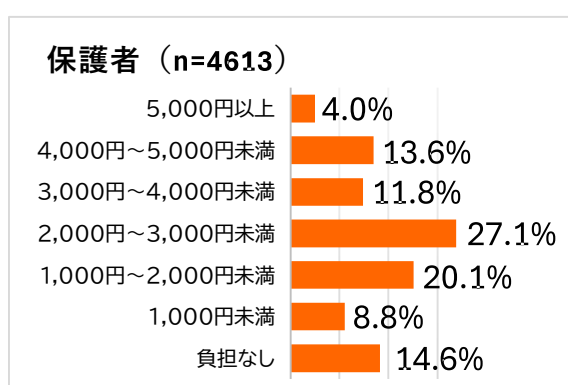
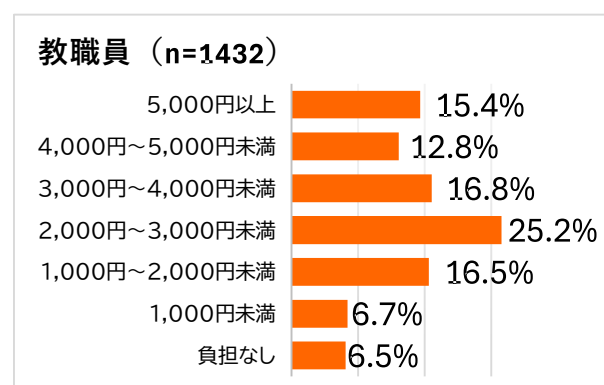
13 地域クラブ活動に参加する際に保護者負担があっても参加させたいか。



保護者の負担がある場合、保護者の約34%が「とても参加させたい」、「参加させたい」と回答している一方で、約14%は「参加させたくない」、「全く参加させたくない」と回答している。

14 休日の部活動が地域へ移行した場合、保護者が負担する妥当額(月謝)はいくらか。

いずれの回答者も3千円未満が妥当であると回答している割合が高いが、教職員の約7%、保護者の約15%、地域クラブ活動指導者の約14%が「負担なし」と回答している。また、教職員の約15%は「5千円以上」が妥当と回答している。



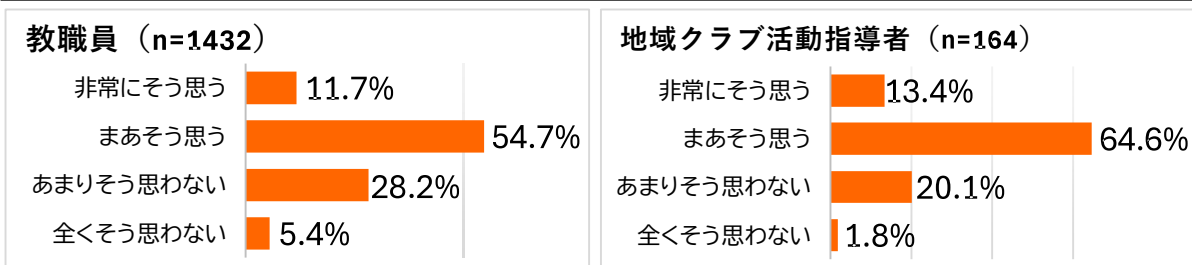
15 地域クラブ活動において、小学生や高校生、高齢者等の多世代と活動することは賛成か。

生徒の約47%、保護者の約64%が賛成と回答している。一方、生徒の約12%、保護者の約5%が反対と回答している。



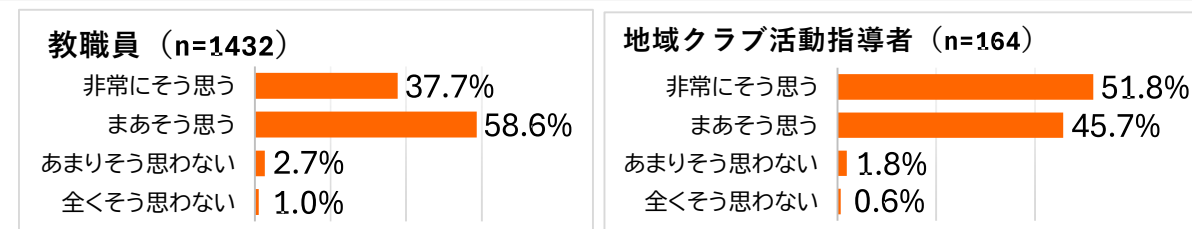
16 技術力の向上を重視し、大会・コンクールでの好成績を目指すべきか。
(休日の地域クラブ活動の在り方について)

教職員の約66%、地域クラブ活動指導者の約78%が「大会・コンクールで好成績を目指すべき」と回答している。一方、教職員の約34%、地域クラブ活動指導者の約22%が「あまりそう思わない」、「全くそう思わない」と回答している。



17 生涯スポーツのための運動習慣の形成に向けて楽しく活動すべきか。
(休日の地域クラブ活動の在り方について)

教職員、地域クラブ活動指導者の多くが「運動習慣の形成に向けて楽しく活動すべき」と回答している。



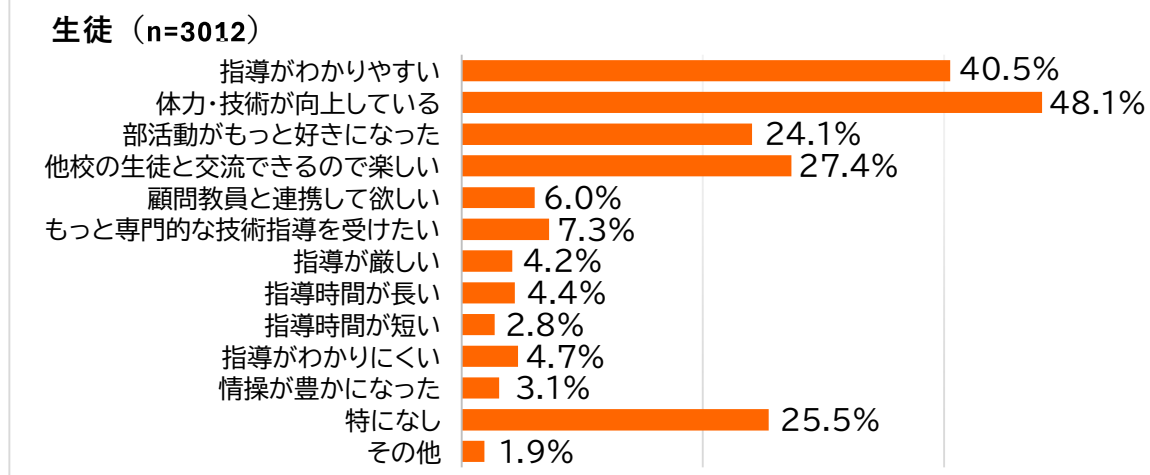
18 生徒のニーズに合わせた多様な活動ができるようにすべきか。
(休日の地域クラブ活動の在り方について)

教職員の約88%、地域クラブ活動指導者の約94%が「生徒のニーズに合わせた活動ができるようにすべき」と回答している。



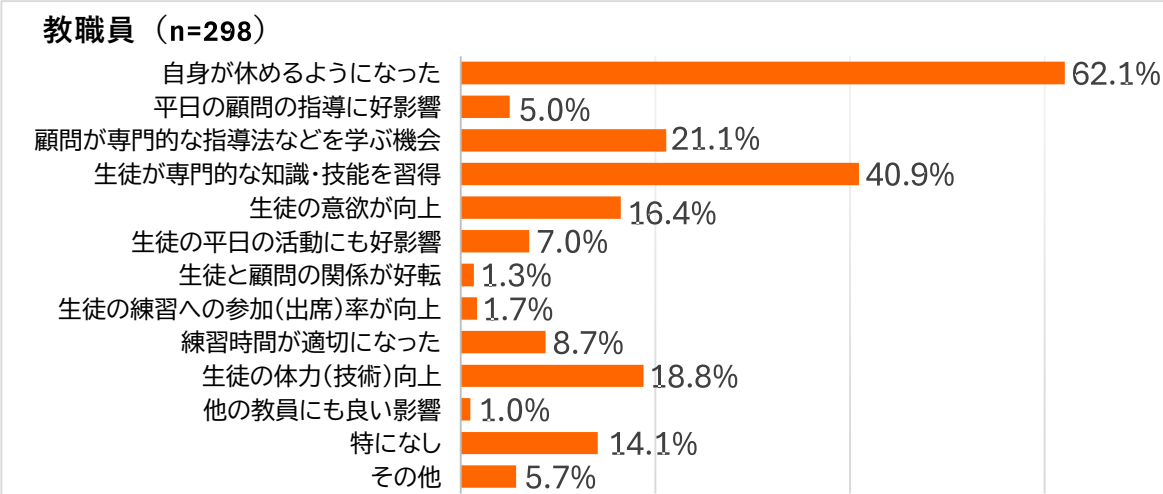
19 地域クラブ活動に参加して、どのように感じているか。(複数回答)

生徒の約48%が「体力・技術が向上した」、約41%が「指導がわかりやすい」、約27%が「他校の生徒と交流できるので楽しい」と回答している。

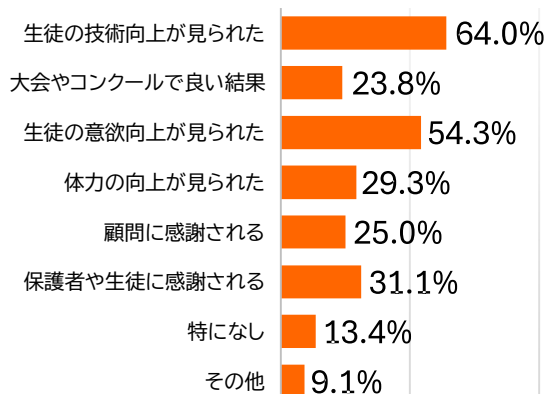


20 休日の地域クラブ活動を実践して、良かったと感じることは何か。(複数回答)

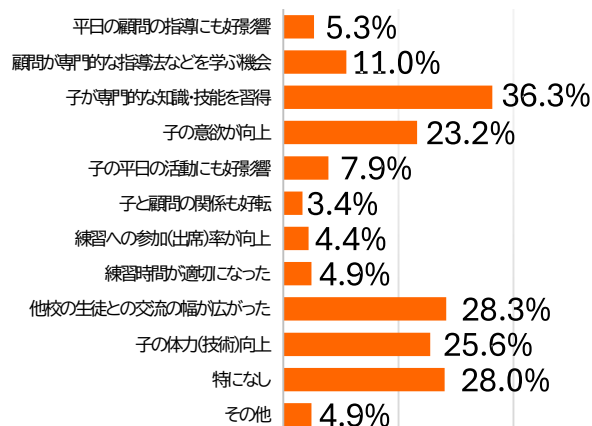
教職員は、「自身が休めるようになった」、「生徒が専門的な知識・技能を習得できた」との回答が多く、地域クラブ活動指導者は、「生徒の技術向上が見られた」、「生徒の意欲向上が見られた」との回答が多かった。保護者は、「お子さんが専門的な知識・技能を習得できた」との回答が多かった。



地域クラブ活動指導者 (n=164)

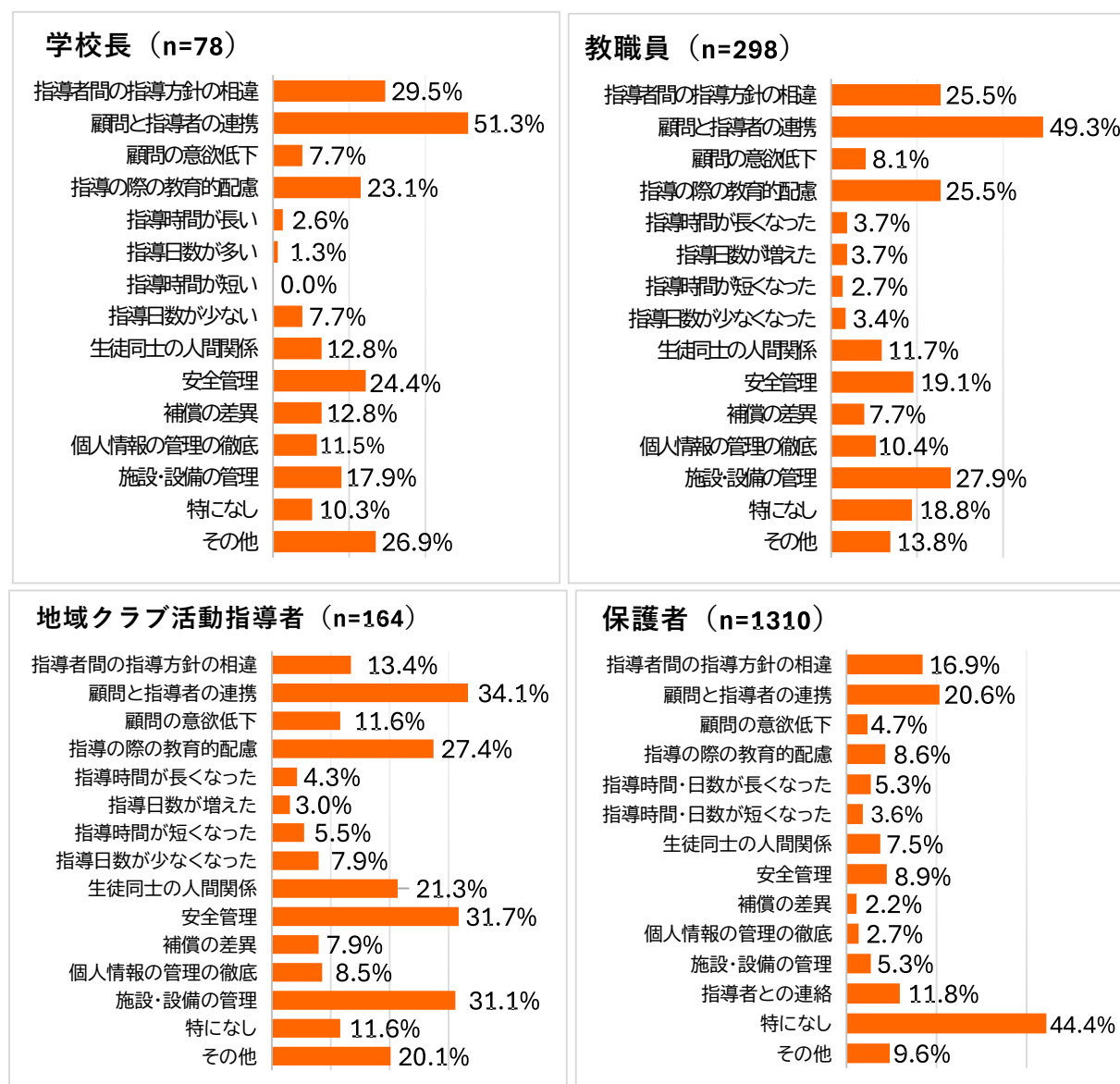


保護者 (n=1310)



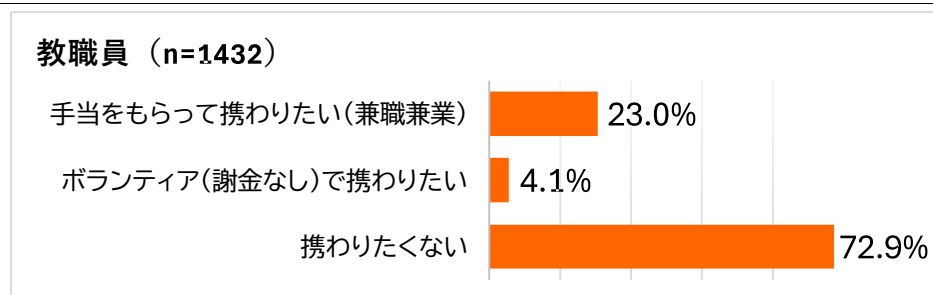
21 休日の地域クラブ活動を実践しての課題は何か。(複数回答)

休日の地域クラブ活動を実践しての課題は、全体では、「顧問と指導者の連携」や「指導者間の指導方針の相違」が多く回答されていた。個別にみると教職員からは「施設・設備の管理」、「指導の際の教育的配慮」、地域クラブ活動指導者からは「安全管理」が課題として多く回答された。



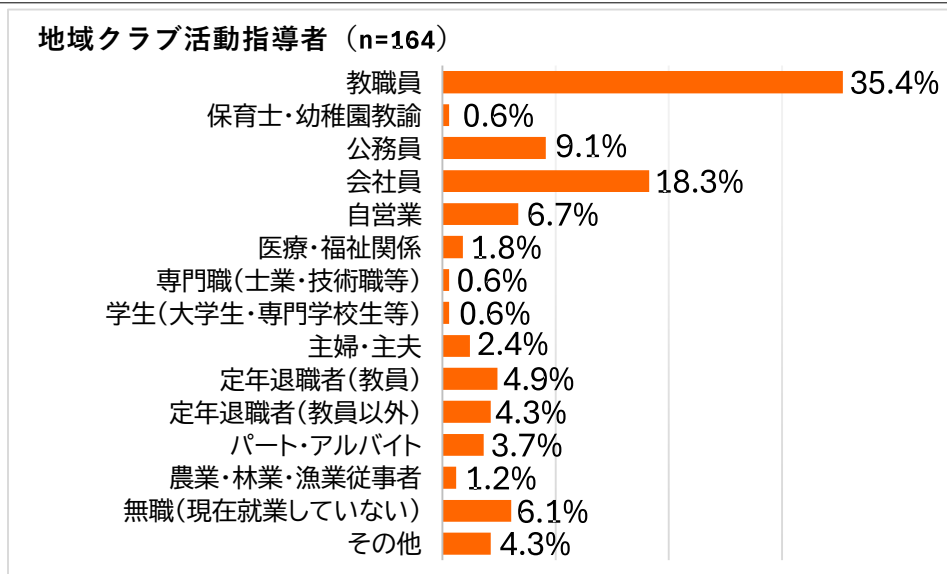
22 休日の部活動が地域に移行した際に指導に携わりたいか。

教職員の約73%は「携わりたくない」と回答しているが、約27%は「携わりたい」と回答している。



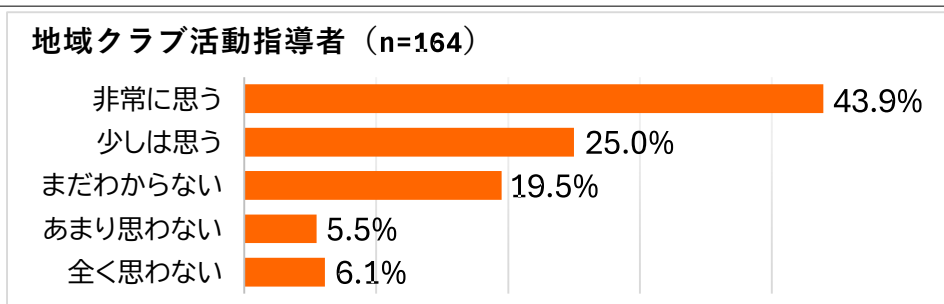
23 (地域クラブ活動指導者)職業を選択してください。

地域クラブ活動指導者の職業は、教職員の割合が最も高く、次いで会社員、公務員と続いている。その他、幅広い職業となっている。



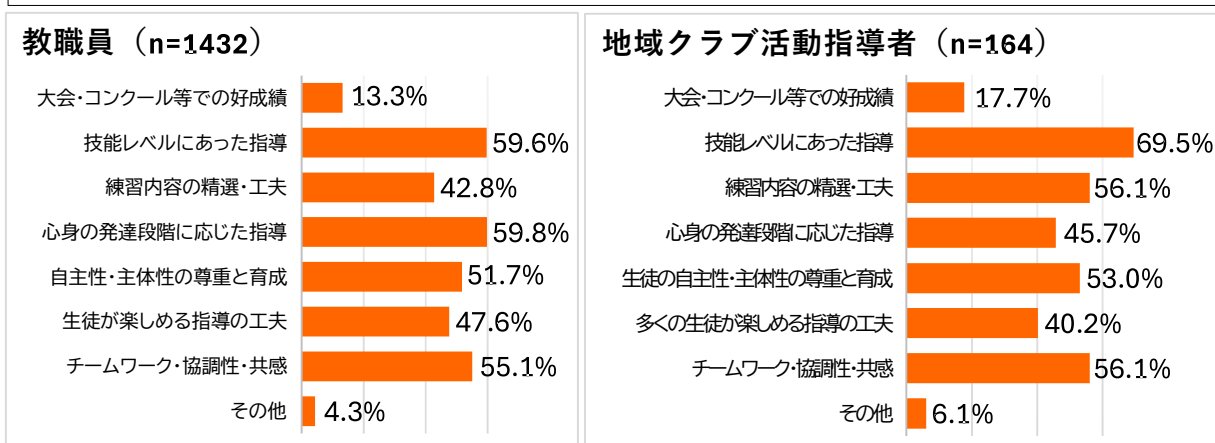
24 次年度も地域クラブ活動指導者として指導に携わりたいか。

地域クラブ活動指導者の約69%が指導者として携わりたいと回答している。



25 休日の地域クラブ活動にあたり、指導者が特に重視するべきと思う点は何か。(複数回答)

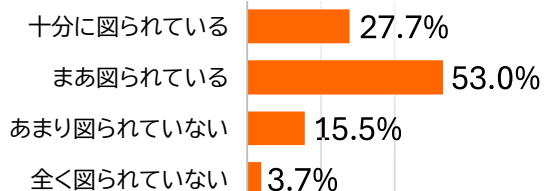
教職員は、「発達段階」や「技能レベル」など生徒の実態に応じた指導を重視するべきとの回答が多かった。地域クラブ活動指導者は、「技能レベルにあった指導」や「チームワーク・協調性・共感」、「練習内容の精選・工夫」を重視するべきとの回答が多かった。



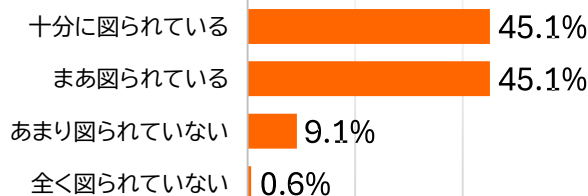
26 顧問と地域クラブ活動指導者との連携は図られているか。

教職員の約81%、地域クラブ活動指導者の約90%が「十分に図られている」、「まあ図られている」と回答しているが、教員の約19%、地域クラブ活動指導者の約10%が「あまり図られていない」、「全く図られていない」と回答している。

教職員 (n=298)



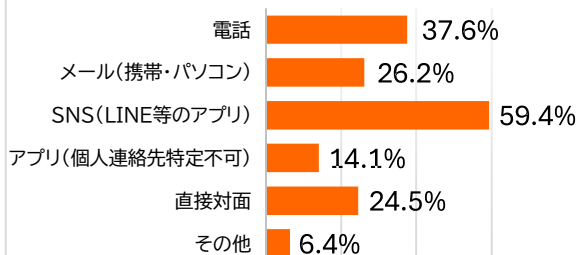
地域クラブ活動指導者 (n=164)



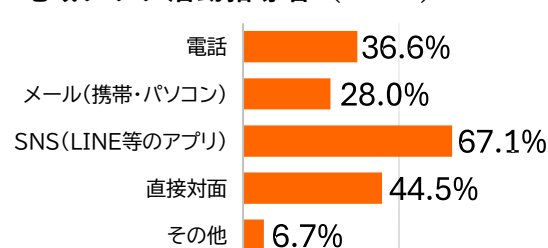
27 顧問と地域クラブ活動指導者との主な連絡手段は何か。

LINE等のSNSアプリ、電話、直接対面が多く活用されていた。

教職員 (n=298)



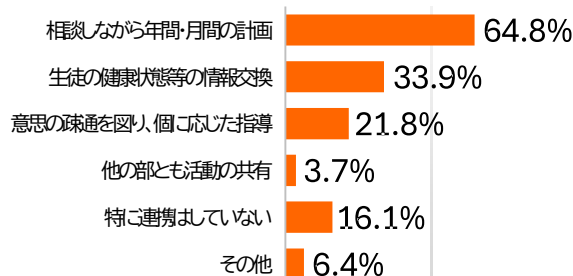
地域クラブ活動指導者 (n=164)



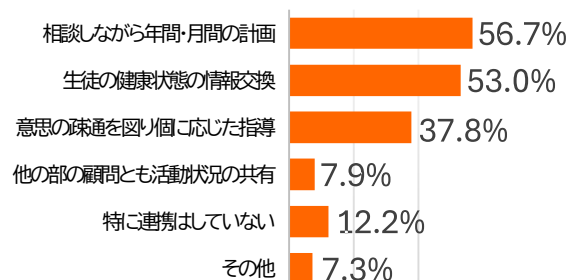
28 顧問と地域クラブ活動指導者との主な連携内容は何か。(複数回答)

指導者間の主な連携内容は、年間・月間の計画作成や生徒の情報の共有に関することであるが、特に連携をしていないとの回答もあった。

教職員 (n=298)



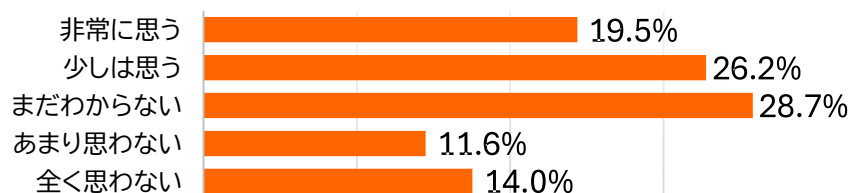
地域クラブ活動指導者 (n=164)



29 平日においても地域クラブ活動指導者として指導に携わりたいか。

地域クラブ活動指導者の約46%が指導者として携わりたいと回答している。

地域クラブ活動指導者 (n=164)



30 休日・平日の部活動の地域移行についてどう思うか。(自由記述からのまとめ)

【学校長】

休日

休日の部活動の地域移行には肯定的意見が約60%で、教員の負担軽減や働き方改革、生徒の継続的な活動環境確保のために早期の推進を望む声が強い。一方、否定的意見は約20%で、指導者不足、文化部の受け皿不足や活動場所の確保が課題として挙げられ、学校を開放せざるを得ない場合の管理負担も懸念されている。また、競技によって地域移行の進捗に差が生じることへの不公平感や、大会運営、安全管理、保護者負担など、制度面でも解決すべき課題が多く指摘されている。他、中立的意見が約20%となっている。

平日

平日の部活動の地域移行については約48%が肯定的(課題有も含む)意見であり、働き方改革の観点から必要だとする声がある。一方で、約29%が否定的意見であり、平日夕方に指導できる人材の確保が極めて困難で、活動場所・送迎・安全管理など多くの課題が指摘されている。また、生徒指導や安心面の配慮から平日は学校で実施すべきとする意見も根強く、完全移行には慎重な姿勢が多い。中立的意見も約24%あり、平日の地域移行は休日よりも難易度が高く、段階的かつ条件整備が不可欠だと考えられている。

【生徒】

休日

休日の部活動の地域移行に対して約54%が肯定的意見で、専門的な指導が受けられ、他校との交流ができ、技術向上に役立つことから、地域移行を良い機会として捉える意見が多い。一方で、移動や費用の負担、指導の違いなどから、約9%が否定的意見であった。また、約37%が「どちらとも言えない」「中立的立場」となっている。

平日

平日の部活動の地域移行に関しては約32%が肯定的意見で、専門的な指導が受けられることへの肯定意見がある。一方、約23%が否定的意見で、多くの生徒は移動の負担・時間の短さ・学業との両立の難しさ・送迎問題・学校の仲間と活動できなくなる不安などから消極的で、特に「今までどおり学校で活動したい」という声強い。また、指導者が変わることによって指導の一貫性がなくなることや、安全面・費用面への不安も多く挙げられている。約45%が「どちらとも言えない」と答えている。

【教職員】

休日

休日の部活動の地域移行に対しては、約42%が肯定的意見で、教員の負担軽減や働き方改革のため、地域移行は早期に進めるべきだという声が多い。専門的指導が受けられ、生徒にとっても活動の質が上がると期待されている。一方で、約15%が否定的意見で、指導者不足・活動場所不足・費用負担・連携不備などの課題が大きく、現状では実行が難しいという懸念も強い。その他、取組自体には賛成していても課題を指摘するなどの中立的意見も約43%見られた。

平日

平日の部活動の地域移行に関しては、肯定的意見は約40%で、教員の負担軽減と働き方改革のため、平日も早期に地域移行すべきであり、完全移行によって部活動と学校業務を明確に分離すべきだとする意見が多い。一方で、否定的意見は約18%で、指導者や活動場所の確保が困難で、移動・安全・費用・連携の問題が大きく、平日の地域移行は現実的でないとの意見が多い。賛否両論の立場も約42%ある。中途半端な移行では混乱や不平等を生むとして、「判断保留」「課題指摘」等の慎重意見が42%となっている。

【地域クラブ活動指導者】

休日

休日の部活動の地域移行に対しては、約42%が肯定的意見で、専門指導の充実、教員の負担軽減、働き方改革の推進につながるため、早期かつ全面的に進めるべきという意見が多い。指導者が確保できれば、生徒の技術向上や多様な活動環境が得られる点を肯定する声が強。一方で、約2%が否定的意見で、指導者不足、移動や安全管理、費用負担、学校との連携不足、指導の不一致、生徒の混乱と不公平の増大など、実施には課題が多く、現状では現実的でないという意見も多い。「判断保留」や「課題指摘」等のその他意見が56%となっている。

平日

平日の部活動の地域移行に対しては、肯定的意見・否定的意見ともに約34%で、肯定的意見では、教員の負担軽減や技術向上のため地域移行は望ましく、可能な範囲で進めるべきとする意見があり、指導者が確保できれば平日移行にも賛成する声がある。一方で、否定的意見では、指導者不足・費用負担・活動場所や送迎の問題から平日の地域移行は現実的に難しく、生徒の混乱や運営リスクも大きいとして慎重または反対する意見もある。

【保護者】

休日

休日の部活動の地域移行に対しては、約41%が肯定的意見で、子どもの技術向上や専門的指導の確保、教員の負担軽減につながるため、肯定的な意見が多く、指導者の質が高いと効果的であり、子どもに多様な経験や交流の機会が生まれることも評価されている。一方、否定的意見は約27%で、指導者不足、送迎・費用負担の増大、活動場所の問題、指導方針の不一致、生徒の混乱・安全面など、運用面の課題が多く、現状では地域移行に不安や反対の声も強い。また、学校部活動の教育的意義（生活面指導、人間関係、成長機会等）が失われる可能性があるのではと懸念している。

平日

平日の部活動の地域移行に対しては、約16%が肯定的意見で、適切な指導者が確保され、学校との連携や安全が担保されるなら望ましいという意見がある。その一方、約18%が否定的意見で、指導者不足や安全管理、活動場所の問題、送迎の負担、指導方針の不一致など、現実的な課題が多く、平日の地域移行への反対または慎重意見も強い。特に平日の移行は困難との声が多く出ている。「判断が難しい」「情報不足」など、その他意見が約66%となっている。